

## 1 年 次

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
時 事 英 語	AHST0-01-DP4	2	選択	砂田 一彦

### 【学習成果】

1. 英語を学ぶ意欲が高まる。
2. 外国の事情（文化、生活習慣など）についてより深い知識が得られる。
3. 世界の動きを宗教や地政学という切り口から理解する。
4. 生活における日本人の常識と外国人の常識の違いを理解する。
5. 日本語と英語の言語学的な違い、ビジネスマナーの基本を理解する。
6. 日本で広く使われている英語のバズワードについての理解を深める。
7. 外国との比較において、日本の良さや課題を再認識する。
8. 日本の様々な出来事を英語でどのように発信していくかを習得する。
9. 外国人の日本でのもてなし方について考察する。
10. 今後の効果的な英語学習法についてのヒントを得る。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
くらしと人権	ASST2-03-DP4	2	選択	桑山 昌己

### 【学習成果】

1. 「憲法」の意味が理解できる。
2. 「憲法」の歴史が理解できる。
3. 「日本国憲法」の概略が理解できる。
4. 「日本国憲法」の成り立ちについての知識が得られる。
5. 人権の重要性について理解できる。
6. 日々の暮らしの中で、人権がどう生かされているか理解できる。
7. 日々の暮らしの中で、人権がどう侵されているか理解できる。
8. 過去の日本の姿を人権の観点からより正確に把握できる。
9. 過去の日本の現状を分析することができる。
10. これからの日本の行く末を考える機会となる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
基 礎 数 理	ANST0-05-DP4	2	選択	林 宏憲

### 【学習成果】

1. 計算のきまりが理解できる。
2. 分数の計算ができる。
3. 小数の計算ができる。
4. 比の計算ができる。
5. 単位変換の計算ができる。
6. 単位を意識して計算できる。
7. 1次式と比例の関係が理解できる。
8. 面積・体積の計算ができる。
9. グラフの見方が分かる。
10. 文字式の計算ができる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
法 と 社 会	ASST1-03-DP4	2	選択	桑山 昌己

### 【学習成果】

1. 社会の中の個人という概念が理解できる。
2. 社会規範というものが理解できる。
3. 社会規範（ルール）の必要性が理解できる。
4. 法律の仕組みが理解できる。
5. 「六法」の具体的内容が把握できる。
6. 身の回りの問題がどの法律に関係するか理解できる。
7. 社会問題に対する自分の意見を持つことができる。
8. 法を守ることの必要性が理解できる。
9. 法を守ることへの信念が確立する。
10. 法について更に学ぶ意欲が出る。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
経 済 と 社 会	ASST0-04-DP4	2	選択	長野 達也

### 【学習成果】

1. 「費用＝おカネ」とは限らないことや市場経済における価格の働きを理解できる。
2. なぜ、便利な都心の土地が高く、不便な山奥の土地は安いのかを理解できる。
3. 貿易が交換の一種であることや比較優位について理解できる。
4. 貿易の赤字や黒字が損得ではないことや貿易収支の決まり方を理解できる。
5. 「貿易黒字を減らしつつ、直接投資を増やす」ことは不可能だと理解できる。
6. 環境を守るために経済的手法が役立つことを理解できる。
7. 財政の役割や財政赤字の意味が理解できる。
8. 情報の非対称性が人々の行動に与える影響を理解できる。
9. 経済問題について間違った「常識」があふれていることが理解できる。
10. 「経済学＝おカネもうけの話」ではないことを理解できる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
自 然 の し く み	ANST0-06-DP4	2	選択	林 宏憲

### 【学習成果】

1. 速度と加速度の関係がわかる。
2. スカラーとベクトルの違いがわかる。
3. エネルギー保存則を理解できる。
4. 原子スケールのミクロな視点で現象を捉えることができる。
5. 自然科学への興味が深まる。
6. 要素分解して物事を捉えることができる。
7. 現代科学と古典の違いがわかる。
8. エネルギーの最小単位がプランク定数で表されることを理解する。
9. 放射線の正しい知識が持てる。
10. 科学は新たな発見により変化していくものであることが理解できる。

# 1 年 次

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
くらしとエレクトロニクス	ANST0-07-DP4	2	選択	坂井 歩

### 【学習成果】

1. 原子力発電が理解できる。
2. 最先端技術についての知識が得られる。
3. 送配電システムが理解できる。
4. 停電原因と対応について理解できる。
5. 電化製品の原理について理解できる。
6. 電磁波の応用について理解できる。
7. 通信について理解できる。
8. 放送についての知識が得られる。
9. ディスプレイについての知識が得られる。
10. パソコンについての知識が得られる。【学習成果（学習してできるようになること）】

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
自動車数理	BMRT1-01-DP2	2	必修	古川 洋一

### 【学習成果】

1. 自動車に関する単位及び用語が理解できる。
2. 荷重計算が理解できる。
3. 圧力と力と面積の関係が理解できる。
4. 変速の種類と目的が理解できる。
5. 変速比が計算できる。
6. 遊星歯車の特性を理解し、変速比の計算ができる。
7. 機関性能曲線図の読取りと計算ができる。
8. 走行性能曲線図の読取りと計算ができる。
9. トルクコンバータの構造を理解し計算ができる。
10. 速度と加速度に関する計算ができる。

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
ガソリンエンジン	BERT2-02A-DP2	2	必修	吉島 茂

### 【学習成果】

1. 潤滑装置について理解できる。
2. 冷却装置は早く暖機を行い、温度が高くなると冷却することについて理解できる。
3. 冷却装置のファン・クラッチ及び電動ファンについて理解できる。
4. 燃料装置（電子制御式LPG）について理解できる。
5. ターボ・チャージャについて理解できる。
6. スーパ・チャージャ、インタ・クーラ、可変吸気装置について理解できる。
7. 電子制御装置（吸気系統、燃料系統、点火系統、制御系統）について理解できる。
8. 電子制御装置（有害物質濃度、三元触媒、O<sub>2</sub>センサの働き）について理解できる。
9. 排出ガス浄化装置について理解できる。
10. 燃料及び潤滑剤について理解できる。

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
異文化コミュニケーション	AHSP0-08-DP4	1	選択	砂田 一彦

### 【学習成果】

1. 日本の文化、生活習慣、社会のしくみなどがわかること。
2. 1のことがベースとなった日本人の考えかたについてわかること。
3. 生活する中で、日本と母国の考えかた（常識）の違いがわかること。
4. 日本語と外国語の言語学的な違いがわかること。
5. 日本でのビジネスマナーの基本がわかること。
6. ドリル演習などを通して日本語能力が上がること。
7. 異文化コミュニケーションでの課題は何かがわかること。
8. 言語コミュニケーションだけではなく、非言語コミュニケーションも大切であることがわかること。
9. 接遇表現（敬語）が正しく使えるようになること。
10. 話しかた、話の聞きかた、日本式自己紹介の基本がわかること。

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
エンジン本体	BERT1-02-DP2	2	必修	田崎 哲也

### 【学習成果】

1. エンジンの作動が理解できる。
2. ガソリン・エンジンとジーゼル・エンジンの違いが理解できる。
3. シリンダを理解できる。
4. ピストンの構造が理解できる。
5. 排気量計算が理解できる。
6. ピストン・リングの違いが解る。
7. クランク・シャフトが理解できる。
8. バルブ機構が理解できる。
9. バルブ・リフト量計算と出力計算が理解できる。
10. エンジン全体の構造が理解できる。

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
ジーゼルエンジン	BERT2-02B-DP2	2	必修	田崎 哲也

### 【学習成果】

1. 現在のジーゼル・エンジンの動向がわかる。
2. 着火と引火の違いが理解できる。
3. 軽油の性状が理解できる。
4. ジーゼル・ノックについて理解できる。
5. 直接噴射式と渦流室式との違いが理解できる。
6. 燃料装置について理解できる。
7. ガバナについて理解できる。
8. タイマについて理解できる。
9. 分配型インジェクション・ポンプについて理解できる。
10. コモンレールの基本構造が理解できる。

## 1 年 次

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
基礎自動車電装	BLRT1-03-DP2	2	必修	前田 茂

### 【学習成果】

1. 電気のしくみ、電流、電圧、抵抗について理解できる。
2. 電源と電流の種類について理解できる。
3. 電気回路による電流の流れと作用を理解できる。
4. 電気抵抗のしくみと回路における抵抗の役割を理解できる。
5. 負荷の直列接続回路にて、電流、電圧、抵抗の変化を理解できる。
6. 負荷の並列接続回路にて、電流、電圧、抵抗の変化を理解できる。
7. 直列と並列に複合して接続されていた場合の電流、電圧、抵抗の変化を理解できる。
8. 消費電力と熱エネルギー及び電力の計算が理解できる。
9. バッテリーの役割と構造・作用が理解できる。
10. 車両でのバッテリー充電方法と充電器によるバッテリー充電方法を理解し実践できる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
シャシ構造（1）	BCRT1-05-DP2	2	必修	古川 洋一

### 【学習成果】

1. 自動車のフレームについて理解できる。
2. 自動車のボデーについて理解できる。
3. タイヤ、ホイールについて理解できる。
4. アライメントの要素が理解できる。
5. アライメント異常時の故障現象が推測できる。
6. ステアリング機構が理解できる。
7. 自動車の旋回について理解できる。
8. アクスル、サスペンションについて理解できる。
9. ショック・アブソーバについて理解できる。
10. 潤滑について理解できる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
自動車の要素	BORT0-06-DP2	2	必修	吉島 茂

### 【学習成果】

1. 鋳鉄について理解できる。
2. 鉄鋼材料について理解できる。
3. 鉄鋼材料の熱処理や表面処理について理解できる。
4. 非鉄金属について理解できる。
5. 非金属について理解できる。
6. 機械要素のねじについて理解できる。
7. ねじ以外の機械要素について理解できる。
8. 基礎的な原理・法則について理解できる。
9. 機械製図について理解できる。
10. 自動車の基礎整備作業について理解できる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
エンジン電装	BLRT1-04-DP2	2	必修	田崎 哲也

### 【学習成果】

1. スタータの構造が理解できる。
2. スタータ・モータの出力特性について理解できる。
3. スタータの点検方法が理解できる。
4. オルタネータの機械的な構造が理解できる。
5. オルタネータの電氣的な出力制御の理解ができる。
6. オルタネータの点検方法が理解できる。
7. 点火の原理が理解できる。
8. 点火時期制御の必要性和制御方法が理解できる。
9. スパーク・プラグの熱価と形状、着火性能と形状について理解できる。
10. スパーク・プラグの不具合現象が理解できる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
シャシ構造（2）	BCRT2-05-DP2	2	必修	古川 洋一

### 【学習成果】

1. 制動のメカニズムを理解できる。
2. 油圧ブレーキの構成を理解できる。
3. ドラム・ブレーキの種類及び特徴を理解できる。
4. ディスク・ブレーキの種類及び特徴を理解できる。
5. クラッチを理解できる。
6. マニュアル・トランスミッションを理解できる。
7. オートマチック・トランスミッションを理解できる。
8. ファイナル・ギヤを理解できる。
9. ディファレンシャルを理解できる。
10. ユニバーサル・ジョイントを理解できる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
実験実習 ガソリンエンジン	BERE1-01-DP3	2	必修	大坪 嵩彬

### 【学習成果】

1. エンジンの内部構造について理解できる。
2. エンジンの構成部品名称について理解できる。
3. 工具の取り扱い方を覚えることができる。
4. 測定機器の取り扱い方、測定方法について理解できる。
5. 分解作業に必要な基本的技術を身につけることができる。
6. 燃料装置（キャブレター）について理解できる。
7. 吸排気装置について理解できる。
8. 排ガス浄化装置について理解できる。
9. 電子制御式燃料噴射装置について理解できる。
10. エンジンの不具合現象をもとに基本的な故障診断の能力を身につけることができる。

# 1 年 次

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
実 験 実 習 シ ャ シ (1)	BCRE1-02-DP3	2	必修	菅沼 義一 古川 洋一 吉田 椋

## 【学習成果】

1. 安全確実なリフト操作により車両の整備ができる。
2. 特殊工具の使い方や計測機器の取り扱いができ、正しい測定方法の技術が習得できる。
3. 実車を直接整備し、ボルト、ナット類の締め付けトルクを体感し、技術を身につけられる。
4. 正しいタイヤ、ホイールの脱着作業ができる。
5. 制動装置（ブレーキ装置）について理解できる。
6. 制動装置のブレーキオイル交換ができる。
7. かじ取り装置（ステアリング装置）について理解できる。
8. 走行装置について理解できる。
9. 動力伝達装置について理解できる。
10. 緩衝装置について理解できる。

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
実 験 実 習 機 械 工 作	BORE0-04-DP3	2	必修	大橋 智樹 館 成哲

## 【学習成果】

1. 三角法に基づく図形の位置について理解できる。
2. バイス、弓のこ、やすりの用途、種類と構造・機能、取り扱い及び手仕上げについて理解できる。
3. ドリル、電気ドリル、卓上ボール盤、タップ、ダイスの用途、種類と構造・機能及び取り扱いについて理解できる。
4. ねじの「並目ねじ」、「細目ねじ」及び「ねじの呼び」について理解できる。
5. ノギス、マイクロメータの用途、種類と構造・機能及び取り扱いについて理解できる。
6. ダイアルゲージ、シンダ・ゲージの用途、種類と構造・機能及び取り扱いについて理解できる。
7. ガス溶接装置の構造、取り扱いについて理解できる。
8. アーク溶接装置の構造、取り扱いについて理解できる。
9. 半自動溶接、ガス溶断装置の構造、取扱いについて理解できる。
10. 各作業におけるの安全に関する知識を習得することができる。

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
車 体 整 備	CYSG1-11-DP2	1	選択	菅沼 義一 前田 茂 館 成哲

## 【学習成果】

1. プライマーサフェーサーの塗装がトラブルなくできる。
2. ソリッド・カラーのブロック塗装がトラブルなくできる。
3. メタリック・カラーのブロック塗装がトラブルなくできる。
4. 塗装後、塗膜に肌荒れがあった場合にツヤを出すことができる。
5. 塗装後、塗膜にタレ部があった場合に補修ができる。
6. 事故車の板金修理見積りができる。
7. 塗装の見積りができる。
8. 交換部品の選択と部品交換の見積りができる。
9. 実車両にて板金塗装見積りができる。
10. 実車両にて見積り説明ができる。

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
実 験 実 習 電 装	BLRE1-03-DP3	2	必修	野尻 賢一

## 【学習成果】

1. バッテリーの構造・機能が理解できる。
2. スタータ・モータの構造・機能が理解できる。
3. スタータ・モータの保守・整備ができる。
4. 回路図の見方及び、電気的な点検ができる。
5. 充電装置の構造・機能が理解できる。
6. オルタネータの保守・整備ができる。
7. 充電装置の回路図の見方が理解できる。
8. ボルテージ・レギュレータの保守・整備ができる。
9. 点火装置の構造・機能が理解できる。
10. 電装品の保守・整備並びに整備技術が向上する。

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
モーターサイクル入門	CPSF1-06-DP2	1	選択	古川 洋一 野尻 賢一 吉田 椋

## 【学習成果】

1. 4サイクルエンジンについて理解できる。
2. 2サイクルエンジンについて理解できる。
3. キャブレタの構造について理解できる。
4. キャブレタの調整方法について理解できる。
5. 湿式多板クラッチについて理解できる。
6. ドッククラッチ式トランスミッションについて理解できる。
7. サスペンションの構造について理解できる。
8. 駆動輪の駆動方式について理解できる。
9. 充電装置について理解できる。
10. 点火装置（CDI方式）について理解できる。

科 目 名	科目番号	単 位	必修・選択	担当教員
自 動 車 と 環 境 政 策	CVST0-12-DP2	2	選択	長野 達也

## 【学習成果】

1. 誘因（インセンティブ）を与えることで人々の利己的な行動を逆手にとって社会的に好ましい状態を実現できることを理解する。
2. デボジット・リファンド制度の仕組みと働きを理解する。
3. 環境税と補助金の仕組みと働きを理解する。
4. 混雑税の仕組みと働きを理解する。
5. 共有地の悲劇、公共財の性質とフリーライダーについて理解する。
6. 排出許可証取引の仕組みと働きを理解する。
7. ピーク時問題、GDPの意味、連産品、ゴミ問題について理解する。
8. コースの定理の意味を理解する。
9. 電気自動車を巡る課題、原子力発電の仕組み、放射性物質の性質などについて理解する。
10. 国際貿易の環境への影響について理解する。

## 1 年 次

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
二輪レース特論	CPSE0-14-DP2	1	選択	島田 尚孝

### 【学習成果】

1. MFJ国内競技規則が理解できる。
2. フェアプレーの精神を持つことができる。
3. 他のライダーやオフィシャル等、相手を尊重できる。
4. 自分自身や他のライダーも含め、安全な走行ができる。
5. ルールの遵守ができ、ルールに従った行動ができる。
6. 二輪競技の魅力を他の人々に伝えることができる。
7. 常に周辺環境に配慮することができる。
8. 社会の一員として責任ある態度と行動がとれる。
9. 暴走行為等の社会悪に反対することができる。
10. 周りへの感謝を忘れず競技に関わることができる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
ビジネス実務Ⅰ	DURP0-02-DP4	1	必修	林 宏憲

### 【学習成果】

1. ビジネスマナーの必要性が理解できる。
2. 身だしなみの基本を知り、興味を持ち、表現できるようになる。
3. 必要な基本アイテムを知り、それらを準備することができる。
4. 基本的な挨拶の方法を知り、凛とした挨拶ができる。
5. 企業訪問の方法を把握し、活用できる。
6. 基本的な履歴書の作成方法を知り、正しく作成できる。
7. オフィスにおける敬語の基本を正しく理解できる。
8. 面接の方法を知り、就職活動の本番に備えることができる。
9. 2分間の自己アピールを体験する。
10. 就業意識に加え、就学意識をも高めることができる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
自動車メーカー技術論	DKRT0-04-DP2	2	必修	山田 茂樹 大坪 嵩彬

### 【学習成果】

1. 普通車メーカーおよびディーラーについて理解できる。
2. 軽自動車メーカーおよびディーラーについて理解できる。
3. 大型車メーカーおよびディーラーについて理解できる。
4. 輸入車メーカーおよびディーラーについて理解できる。
5. 各社の教育制度および資格制度について理解できる。
6. 各社の新技術（安全性能・環境性能）について理解できる。
7. 就職活動の進め方について理解できる。
8. 各社の求める人材像について理解できる。
9. 社会人に必要な素養について理解できる。
10. 自己啓発の必要性を理解できる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
損害保険論	DXST1-01-DP4	2	選択	桑山 昌己

### 【学習成果】

1. 損害保険の仕組みが理解できる。
2. 損害保険の意義が理解できる。
3. 損害保険の必要性について理解できる。
4. 生命保険と損害保険との異同について理解できる。
5. 自動車保険の詳細についての知識が得られる。
6. 火災保険の詳細についての知識が得られる。
7. 傷病保険の詳細についての知識が得られる。
8. 損害保険を「買う」立場と「売る」立場の両方について理解できる。
9. 自動車業界における損害保険の重要性について理解できる。
10. 損害保険募集人試験（基礎単位）合格に直接役立つ。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
ビジネス実務Ⅱ	DIRP1-03-DP4	1	必修	長野 達也

### 【学習成果】

1. 仕事で最低限必要なレベルのタイピングができる。
2. パソコンを使って履歴書の下書きが作成できる。
3. ビジネスメールの基本的な書式（フォーマット）が理解できる。
4. 電子メールを送信する際に、「TO」「CC」「BCC」の使い分けができる。
5. 電子メールを使って課題の添削を受けることができる。
6. 「IMEパッド」を使って、読めない漢字を入力できる。
7. ビジネスメールで最低限のルールを守ることができる。
8. 電子メールにデータ（ファイル）を添付して送ることができる。
9. 表計算ソフトでデータを分析することの必要性が理解できる。
10. 表計算ソフトでグラフを作成する仕組みが理解できる。

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
情報リテラシー	DISPO-05-DP4	1	選択	林 宏憲

### 【学習成果】

1. パソコン操作の基本が身に付く。
2. インターネットの仕組みが理解できる。
3. クラウドサービスの仕組みが理解できる。
4. SNSを安全に使うことができる。
5. Eメールを正しく使うことができる。
6. インターネット検索を有効に使えるようになる。
7. 著作権に配慮してインターネット上の情報を利用できる。
8. 文書作成に図書を利用する方法がわかる。
9. レポートの書き方が身に付く。
10. プログラムの仕組みがわかる。

## 1 年次

科 目 名	科目番号	単位	必修・選択	担当教員
インターンシップ	DZSE0-06-DP4	1	選択	山田 茂樹

### 【学習成果】

1. 働く意義について理解できる。
2. 企業という組織を実感できる。
3. 自動車整備士の世界を体験できる。
4. 社会人としての基本的な心構えを理解することができる。
5. 工具や設備の使用方法に必要な知識や経験を得ることができる。
6. 整備作業に必要な知識や経験を得ることができる。
7. 就職後の職業生活に対する適応力を高めることができる。
8. 社会人となる意欲を養うことができる。
9. 就職活動の方向性や職業選択に役立てることができる。
10. 実務能力を高めるとともに今後の学習意欲も向上させることができる。